



http://www.aiche.org/CCPS/Publications/Beacon/index.aspx Messages for Manufacturing Personnel

Sponsored by **CCPS Supporters**

火気工事許可

2007年9月











何が起こったか?

左側の写真現場では、職長(F)と溶接工(W)各1名と保全作業員(M)2 名 が第1タンク上で溶接を行っていたが、正規の火気工事手順を踏 んではいなかった。引火性ガス検知器を使った大気中の引火性蒸気 のチェックをせず、その代わり第1タンクでは、タンクに点火した溶接 トーチを挿入して引火性蒸気をチェックした これ自体危険な方法 である。タンク同士は相互に連結されていたが適切に分離されていな かったため、タンクの中に存在した引火性蒸気が溶接作業場所に排 出され着火した。職長と保全作業員2名は死亡し溶接工は重傷を 負った。また、間に合わせの作業床 第1タンク(1)と第2タンク(2)の 間に渡されたはしごの上で作業していたことに留意すること。

右側の現場では、ガソリン運搬車の近くで溶接を行っていたが、これ も正規の火気工事手順を踏んでいなかった。引火性蒸気は着火し火 災と爆発を起した。運搬車の片側鏡板は、道路の反対側の建物に 当たっており、(この事故で)1名が死亡し他の1名が重傷を負った。

あなたにできること

- 危険な火気工事作業を知っておくこ と 溶接・切断・研磨・ガスまたはジー ゼルエンジン運転、その他引火性蒸気 を着火させるスパークを生ずる作業。 ▶ 自分が扱う設備の火気工事許可手
- 順を理解、遵守すること。
- > 火気工事許可証が適切に教育訓練 された有資格者により発行されたもの であることを確認すること。
- ▶ 火気工事の作業(または他のあら ゆる作業!)に関し疑問があるときは、 直ちにその作業を中止し、懸念される ことを管理者に申し出ること。
- > 安全に引火性雰囲気を確認するよう デザインされた引火性ガス検知器を使 用すること。

AIChE © 2007. 不許複製. 非営利的な教育目的のための複写は奨励する。ただし、再販目的のための複写は、CCPS以外のいかなる者に対し ても禁止する。 コンタクト先: ccps_beacon@aiche.org or 212-591-7319